



広報

おおづまち



平成9年 **11** 月号

CONTENTS

- まちづくり行政懇談会…………… ②～⑤
- 心の健康は身体の健康から…………… ⑥⑦
- ブラジル派遣青年研修リポート…… ⑩
- 「岩戸の里」の入場者20万人を突破… ⑭

のこった、のこった

外牧地区に江戸時代から伝わる外牧観音堂相撲が、10月18日に同観音堂前の広場で行われました。

夕暮れ時から始まるこの相撲は、以前は地元の若者たちが集まって相撲をとっていたそうですが、現在は地元の子どもたちにより引き継がれています。

土俵で勝負が決まるたびに、ひときわ高い歓声が美しい秋の夜空に響いていました。



地域おこし
行政懇談会

ふるさとを

どのような姿で

子に託すか

まちづくりの基本は、地元根ざした住民の意見を行政に反映させることである。今年六月に行われた行政区嘱託員・区運営委員会で、住民と行政とが意見交換を行う「地域おこし行政懇談会」の開催について話し合われました。

これまで町の施策について、地域の皆さんと行政とが直接話す機会がありませんでした。そこで、日ごろ町民の皆さんが考えているまちづくりの意見や要望について町行政と意見交換し「ふるさとをどのような姿で子に託すか」をテーマに、町内八つの校区ごとに区長会が主催してこの会を開催することが決まりました。

懇談会は八月末から始まり、町からは町長をはじめ全課長などが出席。住民からまちづくりのさまざまな提案や意見が出されました。

町広報では、今月号からその主な意見交換の内容を、開催順に二校区ずつ掲載していきます。

町区長会
主催

住民と行政が一体となったまちづくりをめざして

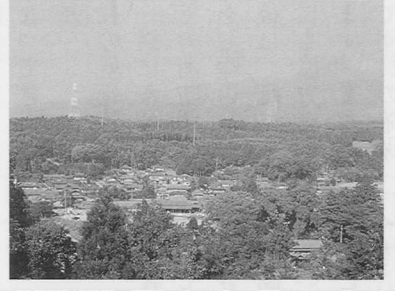
平川校区

上猿渡 下猿渡 御所原 馬場
宮本 多々良 飯宿 米山

懇談会：8月30日(土)

校区データ (9月30日現在)

人口 1,047人
世帯数 274世帯



複式学級統合のため 大津北小の建設を

江藤五男さん (平川小PTA会長)

平川小学校は、児童の減少に伴い、平成十一年度からは複式学級になることが確実です。そこで、北部三校(平川小・矢護川小・真城小)の統合の話もありますが、統合しても近い将来には、再び複式となることが確実です。また、大津小学校は、美咲野団地の開発による世帯の増加により近い将来は、満杯の状況になると聞いています。団地内には、学校建設用地も確保されていると伺っていますが、いままじ北部に建設予定地を移動してもらい、新しく開校する大津北中学校の東方面に、大津北小学校を新設していただけないでしょうか。

学校教育課長

ご心配通り、平成十二年には、複式になり、三校合わせても一年生が四十一人に達しません。複式の善し悪しではなく、団体行動やその他の行事でも二から三クラスの方がいいのではと考えています。今後、町全体の問題として考慮していかなければならないと思います。美咲野団地内には、小学校建設予定地はありますが、建設についての具体的な計画は現在のところありません。

教育長

北部三校の統合は考えるべきです。地域の方と意見を聞きながら進めていきます。

平川南台地の

発展のために

古庄寿治さん (農業)

平川の南台地には、杉水公園から中核工業団地までの農免道路の計画がなされて数年になり、現在部分的に完成していますが、まだ完成していません。そこで、早期の完成を願っています。次に平川南台地は、農業振興地域の最高の場所だと思っています。点々と住宅などが建ってきましたが、今後とも農業振興地域として指定されますか。

また、高尾野と接する東側の台地では、今年の長雨で排水路がはらんしました。この地域は、農業よりも工業団地などの指定をすれば、企業の誘致なども可能となり、今後の平川校区の発展も有望視できると思います。

農業振興課長

農免道路は、平成十四年には完成させたいと考えており、早期完成を県にお願いしていきたいと思っています。また、完成すれば、八年間は農業振興地域の指定の解除はできないと思います。東側台地の高尾野と接する排水路については、大変ご迷惑をおかけしましたが、この排水路整備については早速県に要望しました。

町長

町の今後の発展に伴い、土地利用計画を作成して優良農地の保全、確保などに努め、区分を

はっきりとしたいと考えています。これを明確にしないと乱開発により、農地が虫喰い状態になることが心配されます。高規格道路の建設のこともありますが、町の発展のためには第二、第三の工業団地をつくりたいと考えています。

伝統工芸資料館の

建設を

古庄勝人さん (馬場)

現在、本町には昔をしのぶ伝統的な資料館がありません。そこで本町は昔からの農業、特に農耕馬の生産については他に類をみないような地域であり、時代が変わるとともに農業人口は減少しつつあります。このような時代に将来の子孫に農業用の器具を残していくのも意義あるものと思います。そこで、伝統工芸資料館とともに図書館な



どの建設を提案します。

生涯学習課長

図書館、歴史民俗資料館の建設については、平成七、八年度に建設検討委員会を設置し検討をしてきました。その中で、図書館は町の中心部に人口五万人を想定した規模の施設を建設すべきであるとの答申をいただいています。その際、歴史民俗資料館との併設も検討されましたが、資料館については、本町を三つのエリアに分け、北部地域は、文化財学習センター(旧護川小)を拠点とする古代遺跡エリア、中部地域は、お茶屋を復元した宿場町エリア、南部地域は、歴史民家エリアとして整備する「フィールドミュージアム構想」が示されています。町では、昭和五十八年から町史編さん事業に取り組み五年の歳月をかけて昭和六十三年に発刊しました。その間文化財の収集も行い、現在町民体育館内町史編さん室に保管されています。農具類なども若干含まれていますが、お話のとおり農業人口の減少や機械化によって住宅改修などにより、当時使用されていた農具類が四散しつつあるのが現状です。今後、これらの収集を行い後世に残していくため、この資料館構想の中で検討していきたいと思います。

大津南校区

森 上陣内 中陣内 下陣内
町 下町 中島 岩坂 鳥子川

懇談会：10月5日(日)

校区データ (9月30日現在)

人口 3,949人
世帯数 1,129世帯



ギャンブル施設の建設に規制を

建設に規制を

玉永香輝さん(大津南小PTA会長)

岩坂地区上の台地に場外馬券売場の建設の計画がありますが、これは、子どもたちの健全育成上、多大な影響が考えられます。PTAとしては場外馬券売場をはじめとするギャンブル施設の建設に反対します。

町長 現在、町に賛成・反対の二つの立場の方からの意見がありますが、町としては白紙の状態です。双方と充分協議をして、本来に町のためになるのかを正確に判断していきたいと考えています。

消防団活動に理解と団員の確保を

団員の確保を

小西達弘さん(消防団第二分団長)

消防団員が勤務している企業に対して、活動に対する理解をしてもらいように、町から働きかけはできないものでしょうか。また、新入団員が入りやすいように広報紙などを通じて消防団の活動をアピールすることも必要になってきたと思います。

総務課長

分団長の就任時には、町長、団長と一緒に各企業を回り昼夜を徹しての消防団活動についての協力をお願いします。さらに今後は、町にある企業連絡協議会にも協力をお願いします。また、広報紙などを通じて団員の確保、自治体消

防団活動への協力と理解をアピールしていきます。

農業活性化のための条件整備を

条件整備を

徳永浩二さん(JA菊池青壮年部長)

農家も、後継者が少ないといわれる中、まだまだ働き手である高齢者の多様な個性・能力を活かせる条件と機会を与えてほしいものです。この町にしかないという地域特産物を興してほしいと思います。また、地域の教育は、自然と対している農業を子どもを育てるベースとしてはどうでしょうか。さらに、地域を興すための地域情報ネットワークを整備してほしいものです。

農業振興課長

農業の抱えている問題は大きいものです。今回、中山間地域活性化のための基金千五百万円を創設しましたが、三年から五年をかけて指針をつくるものです。人材育成、物産品の開発などについて農協と一体となって進めていきます。また、総合交流ターミナル(大津温泉「岩戸の里」の利活用についても情報発信基地としての機能を備えていますので、農協と再度検討していきます。

老人に対する施策の実施を

施策の実施を

永田彦助さん(民生委員)

現在、町内には独居老人が二百七十人以上おられます。ちなみに六十五歳以上が四千六百人(町全体人口の一七%)七十歳以上三千百人(町全体人口の一〇・五%)であります。大津温泉「岩戸の里」にも行きたいが車がなくて行けない状況などもあるようです。このことを考慮した施策はないのでしょうか。

福祉課長

民生児童委員などで年二回「独居老人を励ます会」を実施して大変喜ばれています。大津温泉「岩戸の里」利用の件は、町が計画した老人クラブの研修の一つとして、バスを使用して



岩戸の里を含めた施設めぐりを町が行っていますので、そちらへの参加をお願いします。

活発な活動に

婦人会員の確保を

国岡君子さん(陣内地区婦人会)

陣内地区婦人会は、現在二百九人の会員で構成されています。活動内容は、リサイクルやボランティア活動、さらには交通安全啓発などで、地域の墓掃除の奉仕活動なども実施しています。しかしながら、年々会員数が減少しているため一人ひとりの負担が大きくなっています。地域おこしということから会員の研修を母親、女性の立場でやっていき、いろいろな活動にもっと参加して学習したいと思っています。そして、より多くの人員確保を願っています。

生涯学習課長

婦人会の組織は、地域になくてはならないものだと思います。今、まさに男女共同参画社会で、いきいきと女性が活動できるように男性の協力をお願いしたいと思います。また、魅力のある婦人会活動をすることで会員を増やしながら、会長さんばかりに負担を強いらずに、全

体の役割を分担していくことも大切であると思います。

県道関係の

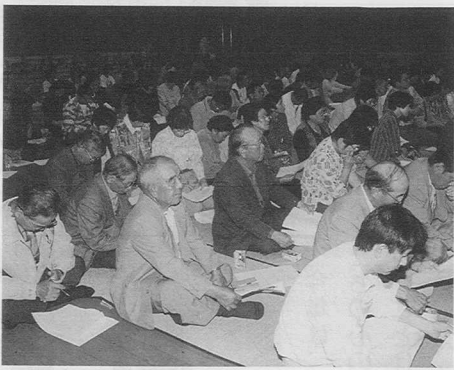
道路整備を早期に

益田邦弘さん（区長会）

瀬田竜田線と瀬田熊本線の改良工事の進捗よく状況はどうかについていますか。また、瀬田熊本線（供合線）岩坂地区バイパスの早期実現をお願いします。

建設課長

県道瀬田竜田線の改良工事は、現在県の事業で瀬田地区内の瀬田バイパス（延長八百メートル）の工事に着手しています。しかし、家屋の移転などもあり、完成するまでにはあと数年かかる見込みです。熊本土木事務所の話では、この改良工事後、



町・地元と相談しながら道路改良を進めるとのことです。また、町としても道路改良工事の促進を県へお願いしているところがあります。

県道瀬田熊本線については、大津管内で二カ所の工事をしていきます。鳥子川地区内の改良工事（延長六百メートル）と、外牧地区内の圃場整備とタイアップした外牧バイパス（延長八百メートル）です。県の考えとしては、現在施行中の工事後、引き続き整備を行う方向で進めたいということでした。また、岩坂バイパス建設の陳情が町を通して県へ提出されています。測量を行い、道路の線形を早く決定してもらいたいとの要望を熊本土木事務所にお願いをしているところでは、

国・県・町、どの事業でも同じですが、事業を行うには地元の熱意と盛り上がりが一番です。用地確保のできたところから予算を付けて着工する方向で進めていますので、地元の方による用地の取りまとめなどご協力をお願いします。

来月号では、大津校区と室校区を紹介する予定です。

消防団をおおづを守る

消防団活動への理解と協力 そして参加を

町消防団は、地域で発生する火災や水害などの災害による被害を少しでも軽減するために日ごろの訓練や非常時の消防活動などを行っています。

今年7月の豪雨の時にも述べ約500人の団員が出勤し、河川のはらんや浸水に伴う水防活動や応急復旧活動などを行いました。特に北部地区を中心に被害が発生し、矢護川がはらんしたり、真木地区や立石地区などに一時非難勧告が出されるなど危険な状態が続くなが、地区住民と協力して地元消防団は連日連夜の水防作業や警戒にあたり被害を最小限に食い止めることができました。

地域のため、郷土を守る消防団に入団し団員として活動してみませんか。

○問い合わせ 役場総務課 ☎(293)3111



秋季全国火災予防運動

11月9日～15日

秋季全国火災予防運動が十一月九日から十五日までの七日間実施されます。

『つけた火は ちゃんと消すまで あなたの火』

火の用心 七つのポイント

- ①家のまわりに燃えやすいものを置かない。
- ②寝たばこやたばこの投げ捨てをしない。
- ③天ぶらを揚げるときは、その場を離れない。
- ④風の強いときは、たき火をしない。
- ⑤子どもには、マッチやライターで遊ばせない。
- ⑥電気器具は正しく使い、たこ足配線はしない。
- ⑦ストーブには、燃えやすいものを近づけない。

消防団非常呼集訓練

秋季全国火災予防運動にあわせて町消防団では、非常呼集訓練を実施します。

○日時 十一月九日（日）

午前六時半から

○場所 町内各地の火災想定場所

非常呼集訓練時には防災無線の放送後、消防積載車がサイレンを鳴らして訓練を行いますので、火災と間違えないようにお願いします。

心の健康は 身体の健康から

女性レポーター
松永久美子



今年、神戸の連続児童殺傷事件をきっかけとして、子どもたちの心の健康についていろいろ議論されています。私は、難しいことは分かりませんが、心の健康は、身体の健康からと考え、「食べる」ということを、子どもたちがお世話になっている給食を通して考えてみようと思います。

朝ごはん 食べてますか

今の子どもたちの食生活を知るため、大津中学校の養護担当の先生に話を聞きました。

「私は、最初のPTA総会の時に、保護者の皆さんに養護教諭として話していることは、『朝食をきちんととらせて登校させてください』ということですが、当たり前のことなのですが、今、朝食を食べてこない生徒が少しずつ増えてきています。しかし、おなかはすく、そこでお菓子を食べてしまう、その繰り返しで健康な身体をつくると思えません。そして、朝から

『疲れた』と言って保健室へやって来る子どもたちのことを、保護者の皆さんはご存じなのでしょうか。

今は子どもも、部活動や塾などで忙しく、ゆっくり親子で話をする機会が少ないと思います。が、時間をつくって会話のある食事をしてほしいと思います」と、話を伺った保健室には「今日は少ない方だ」と話されていましたが、五、六人の生徒が寝ていました。

話を聞くと、食事の大切さもさることながら、家族と一緒に食べるということが心身の栄養につながるということを教えてくださいました。

もつと給食に 関心をもとう

現在、本町の給食センターでは毎日四千五十食の食事が作られています。幼稚園・小学校・中学校と長い人では、十二年間も「昼食は給食」ということになるのですが、給食への関心はどうなのでしょう。皆さんは我が子の一日に必要なカロリー数を知っていますか？私はこのレポートをするまで知りませんでした。「給食があつてよかった」という声はよく聞きますが、イコール「弁当を作らなくていいから楽だ」ということにつながっていないでしょうか。

給食の献立表をあらためて見てみると、よく工夫されている

ことに感心させられます。しかし一方通行でよいのでしょうか。私たちの意見を聞く機会がほしいものです。

例えば、冬の牛乳。いくら栄養価が高いとはいえ、冷たくて飲めない子も多いのではないのでしょうか。少し暖めることはできないのでしょうか。

そして和風料理。町内のおばあちゃんたちに試食してもらい、昔からの知恵を献立づくりに生かすことはできませんか。給食という、子どものいる家庭だけに限られますが、おいしい献立は作り方を教えていただいたりして交流しながら関心をもっていただけたらよいと思います。

栄養士さんに 話を聞きました

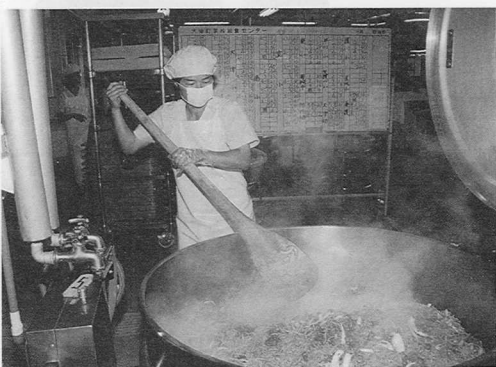
学校給食の献立や栄養について、大津中学校の栄養士である岩本眞利子さんを訪ね、お話を伺いました。

「皆さんは、今日の給食の献立を知っていますか？我が家の夕食の献立と同じではありませんか？」

私たちは、約二カ月前から献立づくりを始め、各学校の給食の担当の先生方とも話し合いメニューを決め、各学校(幼・小・



大津中の給食の時間(本文と写真は関係ありません)



給食センターでは毎日4,050食が作られています

栄養たっぷりの牛乳を もっともっと好きになって



J A 菊池大津中央支所
酪農部会長

矢野桂吾さん
メイ子さん
(高尾野)

高尾野で酪農を営んでいる矢野桂吾さん・メイ子さんご夫婦にお話を伺いました。

「牛乳というと、今は紙パックを連想する子が多いと思いますが、やはり牛乳は『牛』ですよ。

牛の乳を搾るとカルシウムたっぷりの牛乳がすぐにも出てきそうですが、まずは土作りから始まることはあまり知られていないようです。まず土にカルシウムをまき、そこに牧草を植え、育った牧草を牛が食べて、栄養たっぷりの牛乳がとれるのです。良質の牛乳は健康な牛からしかとれませんので、自分の子ども同様、健康管理には充分注意して育てています。ですからのどを潤す清涼飲料水と同じように飲むのではなく、栄養補給として、そしてカルシウムたっぷりで精神を落ち着かせる薬として飲んで、食べて欲しいと思います。」

矢野さんの牛舎はとても清潔で、取材に行った時ご夫婦で目を輝かせて、酪農について話してくださいました。矢野さんの牛舎には全国から農業研修生が訪れて酪農について勉強したり、小学校の体験学習にも協力されています。

矢野さんは、「農業も酪農も、一度体験すると、苦勞も喜びも理解できます。牛に触れ温かい乳房から乳を搾ってみると、牛乳をもっと、もっと好きになれるかも……」と、おっしゃっていました。



良質の牛乳を生産するために牛の健康管理に最も気を使うそうです



「給食にもっと関心をもってほしい」と語る栄養士の岩本さん

が残るようになりません。成長期の児童生徒には栄養量の基礎となる食品ですから、研修会などにも参加して調理用としてどんなに使っていったらと思ってみます。家庭でも、工夫してみてください。

給食の調理が終わると、『今日は喜んで食べてくれるかな』といつも思います。家庭で『今日給食おいしかった?』って聞いてみてください。一日三回の食事の一回ですから関心をもつてほしいのです。そして意見も聞かせてください。』

岩本さんの言葉には給食に対する熱意が感じられました。給食センターの皆さん、毎日心のこもった給食ありがとうございます。

心の健康は 身体の健康から

今回のレポートで、いろいろなところを取材しましたが、『食べる』ということがただ単に空腹を満たすことだけではないと皆さんが考えていらっしやることが分かりました。食べるということが、生まれてから死ぬまで続くことですから、楽しい会話の中の食事と、忙しさに追われた一人の食事とは次世代の子や孫に受け継がれる時『食べる』ということの意味が随分違ってくるように思えます。

成長期の子どもが一人で食卓に向かいインスタントカップめんをすすっている光景は想像するだけでも寂しい気がします。非行化した子どもたちは家族そろって食事をすることが少なかりたり全くないという子もいるそうです。

しかし、子どもが食事をしていいる時親が不在かという、そうとは限らないのです。テレビを見ていたり新聞を読んだりしているケースもあり、ちょっと工夫すれば会話のある食卓が作れるような気がします。

食卓が体の栄養ばかりか心の栄養までそこなうことがあるのです。

さあ、給食の献立表を見て、子どもたちの喜ぶ姿を想像しながら夕食作りをしてみませんか。『心の健康は、身体の健康から』です。

我が家で作ってみませんか

かんたんにつくれる 栄養満点の “カステラいも”

材 料 カライモ300g (皮をむいたもの)
芋のデンプン大サジ3杯
(片くり粉でもよい)
卵 4個
砂糖 200g (好みに合わせて量を加減)

作り方

①フードプロセッサーに入る大きさに芋を切りおろす。(おろし器ですりおろしてもよい)

②卵4個を泡立てる。
③②の中におろした芋、芋のデンプン、砂糖を入れ、混ぜ合わせる。
④型に入れ180℃のオーブンで30分～40分焼く。
簡単ですけど、とてもおいしいですよ!



「税を知る週間」日程表

行 事	期 日	時 間	場 所
税 金 展	11月7日(金) 11月18日(火)	営業時間内	アーク・ジャスコ大津店
税の無料相談	11月14日(金)	10:00~16:00	〃
納 税 表 彰 式	11月17日(月)	10:30~11:45	菊池市福社会館
税の作品表彰式	〃	15:00~	〃

税を知る週間

11月11日~17日

この社会あなたの税がいきている



国や地方公共団体は、私たち国民が豊かで安定した暮らしができるようにいろいろな活動を行っています。

税金は、国や地方公共団体が活動するための大切な財源であり、私たちにとって、共同生活を維持するためのいわば会費であるといえます。「税を知る週間」は、国民生活に深いかかわりを持っている税について、その仕組みや使われ方などを、広く国民の皆さん方に正しく理解していただくために設けられているものです。

平成9年度分

年末調整説明会

今年も、年末調整を行う時期となりました。年間給与の源泉徴収の総決算となる説明会です。該当される事業主の方は必ず出席してください。

○日時 十一月二十一日(金)

・個人徴収義務者

午前九時半~午前十一時半

・法人徴収義務者

午後一時半~午後三時半

○場所 町中央公民館

○問い合わせ 菊池税務署

☎ 0968(25)2121

保険税納めてつくる健康家庭

大津国民健康保険

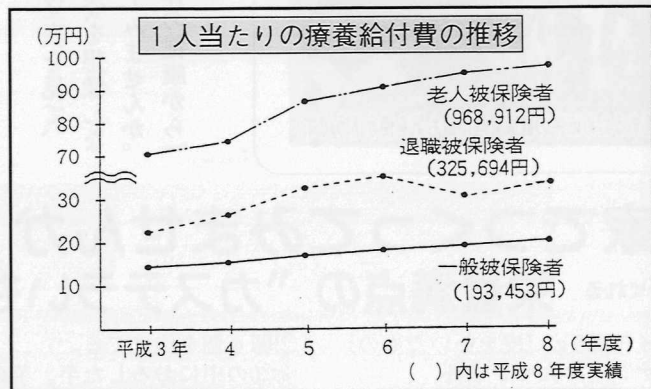
国民健康保険(以下「国保」)は、皆さんが病気にかかったり、けがをしてしまったときに、経済的な心配なくお医者さんにかかるように、みんなで保険税を出し合い、お互いを支え合う制度です。

医療費をムダなく有効に使うために！ わたしたちができることは？

- ①重複受診やむやみな転院はやめましょう
- ②時間外・休日診察はなるべく避けましょう
- ③家庭医を持ちましょう
- ④定期的に健康診断を受け、病気の早期発見・早期治療をこころがけましょう



■医療費はわたしたちの財産といえます。使い方をよく考え、より大切に、有効に使いましょ!!

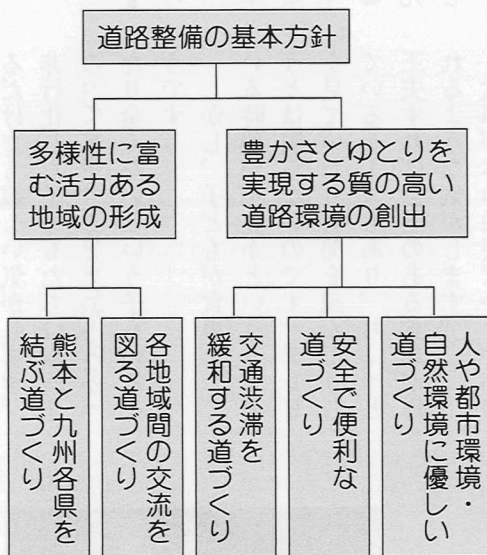


厳しい国保財政 年々、高齢化が進んでいることなどによって医療費が増加し、国保財政は厳しい状況になっています。国保のしくみと役割をご理解いただき、国保運営にご協力をお願いします。

熊本の新しい道づくり

みなさんの声で道路整備の基本方針を策定しました。

○平成10年度から始まる「新たな道路計画」に向けて、熊本県においても準備を進めているところですが、今後の道路整備の方向性を示す「道路整備の基本方針」を下記のとおり策定いたしました。



○「道路整備の基本方針」の策定にあたっては、昨年7月のキックオフ・レポートや今年4月の「道路整備の基本方針(案)」に対する皆さんの意見を踏まえて作成しています。

■問い合わせ 県庁道路建設課
☎ (383) 1111

モックル君のコーナー

VOL. 8



みんなできつくる

美しいおおづ 7

— ひのっこプランターが出来た —

中島区民泊協力会

くまもと未来国体のマスコット「ひのっこ」三体が描かれたプランターが中島区公民館に約二十個置かれ、サルビアやマリゴールドなどが植え込まれています。

普通のプランターは、長方形のプラスチック製ですが、この公民館に置いてあるのは、丸型

で白地に赤・緑・青色の「ひのっこ」が描いてあります。しかもゴム製で、金属製の土台付き。なんと、ホイール付きの車のタイヤで作られています。

このプランターを作られたのは、中島区民泊協力会美化班長 元田孝文さんと、今回中島区で民泊を引き受け、自分が美化班

長となったことで、何か独自で作ってみようと思い、以前テレビで見たこのプランターを作ったそうです。

中島区の大田黒区長は、「公民館の周囲にこのプランターを置いて花を植えたことで、公民館が見違えるほど美しくなった」と話しており、区民の皆さんも大変喜ばれています。

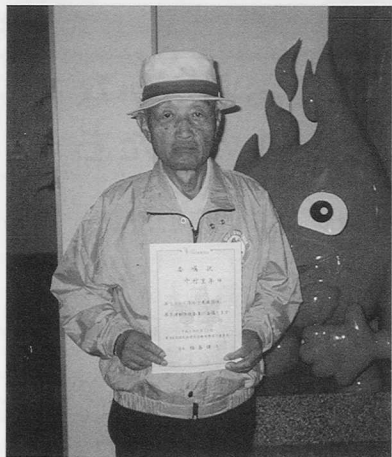
競技に参加することだけが国体ではありません。町民「一人一役」で国体を成功させるため、町民の皆さんも何か一つ自分でできることを考えて実行してみませんか。



ユニークな「ひのっこプランター」を作った元田さん(右)とその完成を喜ぶ大田黒区長

県民運動推進員に

中村重年さん (町老連会長)



県知事からの委嘱状を手にする中村町老連会長

九月二十三日に県民総合運動公園パークドーム熊本で開催された第一回くまもと未来国体県民運動推進大会で、県内二百九十四人の、「県民運動推進員」に福島知事から委嘱状が交付されましたが、

本町からは、中村重年さん(町老人クラブ連合会会長)がその委嘱を受けました。

この制度は、平成十一年の国体開催に向けて次の項目について県全域で取り込むものです。

①所属する組織団体への県民運動の取り組みと指導

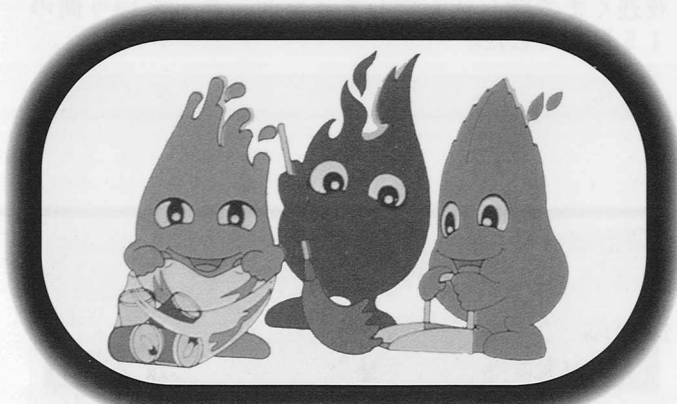
②全県的な県民運動の啓発および実践活動

③県民運動各種行事への参加

町民の皆さんも、本町の町民運動へのご協力をお願いします。

○国体についてのお問い合わせは役場国体推進局

☎ (293) 5981



平成11(1999)年10月開催くまもと未来国体 大津町はサッカー競技(少年男子)の開催地です。

ブラジル サレゾポリス市 派遣
ピエダーデ市

青年交換研修生

研修レポート

今年の7月15日から7月29日までの15日間、本町の姉妹都市ブラジルサンパウロ州・サレゾポリス市とピエダーデ市に、青年交換研修生として町から派遣された2人の研修レポートの一部をご紹介します。

サレゾポリスの美しい町並み



日本人より日本人らしい
日系の人たち

大田 黒 薫 (大学生・下町)

日系三世で10代、20代くらいの若者たちは、日本の礼儀作法やよく働くところなど、日本人のいいところを日本の子どもより、より多く引き継いでいるように思いました。また、とても陽気でブラジルのなところも併せ持っているように思えました。

年配の日系人は、特に日本にとっても強い関心をもって、朝5時からの日本からの海外向けラジオニュースを毎日聞く人や、衛星放送設備を取り付けてNHKテレビのニュースを見たりしていました。そのため日本を外から客観的に見るのできる日系人は、私たちの気付かない日本もよく知っていて、「日本人より日本人らしい日系人」でした。

現地の人に比べ日系人はとても教育熱心です。日系人はサンパウロ州の人口の約1%ですが、大学進学者ではその13%を占めるということでした。また、日本に留学する人や農業などの技術研修で日本にやって来る人も多いようでした。

ある日、現地の人が「今日は家族みんなが集まる日なので、先に帰らせてもらうね」と言って帰って行きました。付き合いを大切にする日本ではあまりこんなことはないと思うけれど、ブラジルの人は家族で過ごす時間をとても大切にしているんだなあと感じました。

また、私がお世話になった日系人のお宅でも、「ちょっとお茶でも飲みましょうか」とさそって来て、お茶を飲みながらみんなでお喋りを楽しむことがたくさんありました。日本では最近、このようなコミュニケーションの時間をとることがなくなってきていると思うので、これをもっと大切にするべきだなと思いました。



オズニーサレゾポリス副市長夫婦（左後方）らと懇談する研修生の皆さん



温厚でおおらかな
ブラジルの人たち

岩根 隆 晴 (会社員・室)

私たちが訪れた季節は冬で、日陰に入ると肌寒く、南の国とは思えない寒さで朝夕はとても冷え込みました。空港から出て、サンパウロ市内の道は舗装されていてきれいでしたが、少し田舎道に入ると路面は赤土のままで、ほとんどの車にエアコンが付いてないので窓を開けると土ほこりが入ってきました。

ピエダーデ市の中心街は清掃され、川沿いに日本移民80周年記念に植樹したという素晴らしくきれいな紅色の沖縄桜が見事に咲き誇っていました。市庁舎の外観や大きさは、大津町役場にとってもよく似ていました。

研修では農業見学が多かったのですが、花、果物、野菜などが栽培されている約1,000haの見渡す限りの畑にはびっくりしました。農家の人たちは朝早くから家族と現地の作業員20人くらいを連れて畑に行きます。果物が多く採れ、食後にはバナナ、いちご、柿が必ず出てきます。

広い国なので、見学に行く時は、目的地に着くまで普通の道路を車で時速100~120キロの速さで何時間もかけて走ります。日本のように分単位の日程ではなく、ブラジルの人たちはとても温厚でおおらかな人たちです。「今日はここに行こう、明日はどこに行く?」と毎日いろいろな所に自由に案内してくれました。

サレゾポリスとピエダーデのそれぞれの最後の夜は、結婚式に出席させてもらいました。招待客500人以上の盛大な式です。ピンク色の教会がとてもきれいで印象的でした。現在は、日系人も2世3世の世代で、こちらが恐縮するくらいとてもよくして頂き、「我が家にも来てください」と、何人かのお宅にお誘いを受け、夜遅くまで話し込んでしまうなど、あっという間の15日間でした。



ピエダーデのいちご農場を見学する岩根さん（右から3人目）と大田黒さん（右から2人目）

アメリカの大地に

感動が生まれた

ヘイスティングズ・アラパホ中高生ホームステイプログラム



ホームステイを体験した派遣メンバー（アラパホ）

「ヘイスティングズ・アラパホ中高生ホームステイプログラム」が、今年も七月十九日から八月五日までの十八日間の日程で実施されました。

このプログラムは、町が人材育成などを目的に毎年行っているもので、五月に参加者を募集し、選考された町内の中高生など十四人が本町の姉妹都市である両市に派遣されました。参加者は派遣決定から出発までの約三ヶ月間、毎週土曜日に事前学習会を実施。日本やアメリカのことを学びました。

派遣期間中は、両市の家庭にホームステイし、アメリカの生活習慣や文化を体験しました。

また、福祉施設の見学をはじめ、キャンプやカヌーを使つての川下りなどのアウトドアプログラムも体験。現地の人たちと交流も深め合い、アメリカの大地で感動が生まれました。

ここでは、参加者の帰国後の感想をご紹介します。

緒方緋呂子（大津中一年・陣内）

外国人である私たちを自分の子どもとして分け隔てなく言葉や文字では表せないくらい愛してくれたホストファミリーに感謝します。

成澤恵里香（大津中一年・引水）

今回の体験で改めて自分のことを知ることができましたし、アメリカのことも少しは分かったような気がします。また行きたいです。

東 麻美（菊阿中二年・大林）

ヘイスティングズを離れる日は、楽しかった思い出がたくさん頭に浮かんで、別れるのがつらくて涙が止まりませんでした。

本田晃一郎（大津中二年・大津）

アメリカに来てからは、感動と驚きの毎日です。もう日本には帰りたくないくらいでした。アメリカの友達もたくさんできました。

服部紗代子（大津高一年・森）

アメリカの文化や生活習慣の違いを知りましたが、まだまだ知らないことがたくさんあります。もっと勉強してまた行きたいです。

佐藤真由美（翔陽高一年・杉水）

優しく私たちを受け入れてくれて、何事にも真剣に取り組んでくれたホストファミリーにまた会うためにもっと英語力をつけます。

吉海 雄生（翔陽高一年・吹田）

滞在して一番印象的だったのは街に自然が多く残っていることでした。アメリカの人たちが自然と共存していることに感心しました。

中尾 由香（熊本北高二年・岩坂）

アメリカの学生はとても積極的に活動的でした。チャンスがあれば私もこのような魅力的な学校で勉強してみたいと思いました。

松本 安澄（翔陽高二年・吹田）

私がアメリカで特に学んだことは自分の考えをはっきりと表現するということです。積極的に相手に意志を伝える自信ができました。

西山 千佳（翔陽高二年・吹田）

人と人の触れ合いは、国を問わず人種を問わず感動や喜びが芽生えます。お互いを理解し合える心の交流の大切さを知りました。

杉本 雅仁（熊本北高二年・岩坂）

私が今回の体験で得た最も貴重なものは「アメリカの友」と一緒に行動した「日本の友」です。私はこれを大切にします。

蔵原ひとみ（西南学院大学一年・吹田）

私はこのグループの青年リーダーとして参加しました。引率者として、また通訳として進路選択の面からも貴重な経験となりました。

田上 克也（役場農業振興課勤務・引率）

今回の貴重な体験で得た感動を忘れず、世界にはたくさん人間になってほしいと心から願っています。がんばってください。

ブレント・ウォルゼン（元町国際交流員・引率）

このプログラムは、姉妹都市交流の大きな柱になっています。もっとたくさんの方々の生徒たちにネブラスカに行つてほしいと思います。

県内外の強豪チームを招待

●'97 サッカーフェスティバル in おおづ

「'97サッカーフェスティバルinおおづ」が10月12日、大津高校グラウンドなどで開かれ、小学生、同トレセン、中学生、高校生、一般の五つの部門に県外招待チームを含む22チームが参加して熱戦を展開しました。

町内のサッカー選手たちは、県外や県選抜などの強豪チームとの交歓試合で技を磨きました。



大津高校と県高校トレセンチームとの熱戦

女性の力を町づくりに

●第4回 町女性のつどい

「第4回町女性のつどい」が9月20日、町文化ホールで開催され、町内23の女性グループなどから約400人が参加しました。

これは、「男女共同参画社会の実現を目指して、女性の力を町づくりに生かそう」と実行委員会（豊岡博子委員長）が毎年開いているもので、グループの紹介の後、町職員組合女性部が、母親に頼りすぎの家庭の問題をテーマにしたユニークな寸劇を披露しました。また、県立大学の石橋敏郎教授の講演や、トークショーなども行われました。



家庭での男性のかかわりを取り上げた役場女性部の寸劇

芸術、スポーツ...

ゆく秋の中で——

10時間ノンストップの熱演

●町音楽祭・サウンドフェスタ '97



深夜までエネルギーが響きました

10月11日、オックス広場で「町音楽祭・サウンドフェスタ '97」が開催されました。

この野外コンサートには、町内外の音楽グループ16グループが参加し、約10時間ノンストップで熱演を披露。中でも、手話サークル「ホットHOT」は、手話を振り付けに使ったコーラスを大津小、大津南小の児童とともに披露し、「聴覚障害者も楽しめる音楽」をアピールしました。

畜産農家が家畜の優劣を競う

●第25回 東肥地区畜産共進会

第25回東肥地区畜産共進会が、9月8日から20日まで七城町の県畜産流通センターと岩坂の県家畜市場で開催され、畜産振興と産地づくりを目指す大津、菊陽両町の畜産農家が、自慢の牛馬の優劣を競いました。

なお、各部門の最高賞であるグランドチャンピオン賞の受賞者は次のとおりです。（本町関係者のみ）

○乳用種牛 坂本昌明（引水）○種馬 帆保新次（下町）○肉牛 中川文博（大津）



共進会では厳しい審査が行われました

生涯学習講座の修了生が 彫刻作品展

●町生涯学習彫刻作品展

3年前、大津高校の開放講座（彫刻の部）に参加した坂本由紀さん（室）ら12人が、このほど大津高校の美術ギャラリーで作品展を開きました。

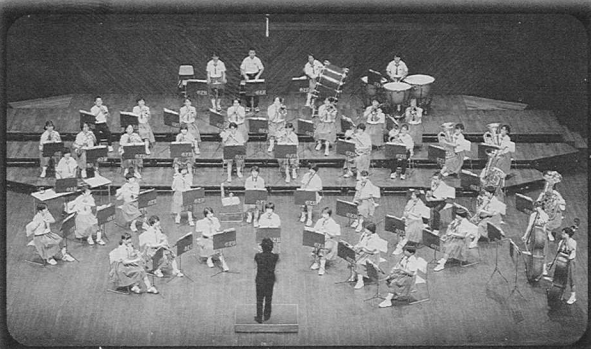
これは、「彫刻の楽しさや、創ることの喜びが忘れられない」と同講座の修了後も元同高美術教諭の古賀勝さんの指導を受けながら町の生涯学習講座などでこれまで学習を続けてきた成果を発表したもので、会場に人物像などの力作約30点を展示。期間中たくさんの人が訪れ作品を鑑賞していました。



作品展には多くの人を訪れました

大津中吹奏楽部が県大会で金賞

●第15回 県マーチングコンクール



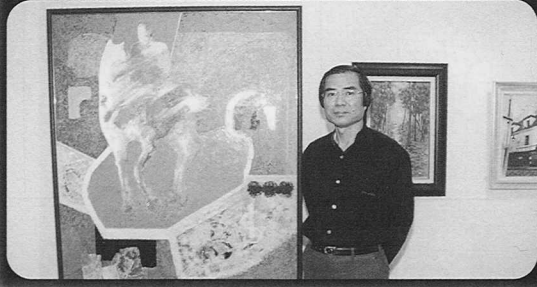
九州マーチングコンクールの予選を兼ねた第15回県マーチングコンクール（県吹奏楽連盟など主催）が9月15日、熊本市の県立総合体育館で開催され、中学の部で大津中学校吹奏楽部が最高賞となる金賞とグッドサウンド賞を受賞しました。

同中吹奏楽部は、11月2、3日の両日に熊本市のパークドーム熊本で開催される九州大会に県代表として出場することになりました。

金賞おめでとうございます。九州大会での健闘を祈ります。

矢護川出身の村山忠男さんが個展

●故郷での初個展で油彩を展示



村山さんと二科展
出品作品「白い風」

矢護川出身の村山忠男さん（福岡県中間市在住、北九州市小倉北区役所勤務）が10月9日から14日まで、熊本市で個展を開きました。

村山さんは二科会会友で、これまで二科展に連続26回出品している実力派。初の故郷での個展となった今回は、スペインやフランスの風景画など油彩約30点を展示し、「準備ができれば、いずれ大津でも個展を開きたい」と話していました。

秋

催し、

Autumn

深まり

からいもフェスタなどをPR

●つつじとからいもの里大津展

11月に開催されるからいもフェスタなどを宣伝しようと、明日の観光大津を創る会が9月24日から30日まで、熊本市の上通り郵便局で「つつじとからいもの里大津展」を開催しました。

期間中は、町特産品の展示や焼きいものサービスを行い、熊本日日新聞の新生面（9月30日）で紹介されるなど大津町を強烈にアピールしました。



大津展では、町の特産品が展示されました

「岩戸の里」入場者20万人を突破

■大津温泉岩戸の里

町総合交流ターミナル施設「大津温泉岩戸の里」の入場者が十月十八日の午後、二十万人を超えました。

同施設には一日平均千五百五十人の入場があり、四月二十一日のオープン以来、百七十四日目のスピード達成となりました。

この日、幸運にも二十万人目の入場者となったのは、熊本市の会社員島田尚哉さん。会社の同僚と二人で訪れた島田さんは記念のくす玉を割った後、荒木町長から町



20万人目の入場者となった島田さん(右)



町内外で好評の大津温泉・岩戸の里

特産のカライモ、アイガモ農法でつくられた新米三十キロ、地元で採れた野菜などの賞品を受け取り大喜び。「仕事の関係で県内のほとんどの公営温泉に行きましたが、ここは三回目です。泉質もよく、建物の中が広くてゆったりくつろげるところがいいですね」と顔をほころばせながら話していました。また、この日は入場二十万人目の前後賞として、渡辺邦雄さん(菊陽町)と榎田弘さん(熊本市)にも野菜などの賞品が贈られました。

町内企業と行政の連携を強化

■町企業連絡協議会合同研修会



熱心に話を聞く参加者の皆さん

町企業連絡協議会合同研修会が九月二十六日、オークスプラザで開催されました。

これは、町内立地企業と行政との連携を図ろうと、室地域企業連絡協議会(村上貞介会長三十三社)、大津地域企業連絡協議会(十川勲会長十四社)、熊本中核工業団地企業連絡協議会(金子毅会長八社)が主催して行ったもので、今回が二回目。研修会では人材高度化事業や健康保険改正、企業内の同和問題の取り組みなどについて研修が行われました。

本田技研2輪車生産1億台達成

■熊本製作所で記念式典

十月十三日、平川の本田技研工業(株)熊本製作所で、同社の二輪車生産一億台達成を記念する式典が開催されました。

昭和五十一年に操業を開始した同製作所は従業員約三千人。国内最大の二輪車製造工場として年間約八十万台の二輪車を生産し、海外工場への部品輸出や技術指導を行うなどマザー工場としての役割も果たしています。また、同製作所の平成八年度工業出荷額は二千八百七十一億円で、県内工業出荷額の約一割を占めています。



式典で披露される1億台目の二輪車

湯野抄子さん(室)が「女性国会」で意見発表

■参議院創設50周年記念女性国会

十月四日に参議院創設五十周年を記念して参議院で開かれた「女性国会」に、室の湯野抄子さんが参加し、「女性と国際協力」などについての意見発表を行いました。

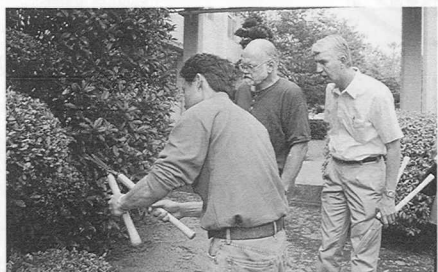


参議院の議席につく湯野さん

この「女性国会」は、男女共同参画社会の実現をテーマに開催されたもので、全国の女性有権者の中から二百五十二人の参加者を公募。湯野さんは応募のあった約千六百人の中から選ばれました。湯野さんは「全国で活躍している女性と直接意見を交わし、その熱意に強い刺激を受けました」と話していました。

姉妹都市から造園「修業」

■米国ヘイスティングズ大職員が来町



せん定の技術を研修するハンセンさん(右)とトマセクさん

本町の姉妹都市米国ネブラスカ州ヘイスティングズ市にあるヘイスティングズ大学の職員二人が九月十九日に本町を訪れ、県立翔陽高校や江藤屋敷などで日本庭園の「造園修業」を行いました。

訪れたのは、同大学管理部長のアート・ハンセンさんと同主任のブルース・トマセクさんで、二人は昨年七月に両市町の協力で同大学に完成した「友好の庭」の管理技術を帰国までの四日間研修。「大津で身につけた技術を生かして友好の庭を立派に育てていきたい」と話していました。

バイオ技術で牛1,000頭誕生

■東肥バイオファーム

九月二十五日、岩坂の県畜産市場で東肥バイオファーム受精卵産子牛千頭達成記念式典が開催され、関係者約七十人が受精卵移植事業の成功を祝いました。



東肥バイオファームは、昭和五十七年から受精卵移植事業に取り組み、昭和六十二年に矢護川の永田陽一さんが最初の子牛を生産。その高度な技術で安全でおいしい肥後牛の生産を続け、今回杉水の酪農業小西光昭さんが生産した褐毛和牛「第二はるみ号」が記念すべき千頭目となりました。

町農委と錦野機械利用組合に県知事賞

■県農業経営基盤強化推進大会

県農業経営基盤強化推進大会が十月八日、熊本市の県立劇場で開催され、本町農業委員会と錦野機械利用組合にそれぞれ部門最高位の県知事賞が贈られました。



魚住副知事(左)から賞状を受ける内田組合長

農業委員会は、農地銀行活動に積極的に取り組み農地の流動化の実績が高く評価されたもので、錦野機械利用組合は、集落機能を生かした共同機械利用方式による米麦の低コスト生産の実績が認められたものです。同組合の内田繁信組合長は、「今後も農地の有効利用を図っていく組合にしていきたい」と話していました。

いきいき
人生
おおづ
VOL.8

ホームヘルパー山口さん
との出会い
富森みち子（引水）

難病を患って18年、筋力の低下は徐々に進み、2年前から車いすの身と

なった。何度も乗り越えなければならぬハードル。苦しみもがきながらも乗り越えようとする時、必ず素晴らしい人との出会いがあった。

一人で歩いていたトイレまでの距離を歩けなくなったのは、昨年、野山が更衣する10月も終わりに近い日だった。夫に相談し、ヘルパーさんをお願いすることにしたが、『1日2回、しかも毎日、一度頼んだら一人で歩けなくなるのでは』とそんな思いが交錯した。揺れるままでの決心だった。

秋も深まりゆく11月の初め、ヘルパーの山口静子さんを紹介していただいた。「一緒に頑張りましょう。お手伝いさせてください」と心から言ってくださった。その温かい言葉に、揺れていた気持ちが安らぎへと変わっていった。週2回、歩行の補助とその他献身的にお世話をしてくださっている。

感謝の心とプラス思考の山口さんに出会い、病をしっかりと受け止められるようになった自分に出会うことができた。



富森さん（手前）と山口さん

郷土史ひと口メモ

第十一代横綱不知火光右衛門を頂点とする江戸期の大津宮相撲力士は、現在四十八人が判明しているが、その中で墓碑十五基が発見され、天保三（一八三二）年から慶応三（一八六七）年の三十五年間にわたっている。次々に墓石も消滅しつつあるので整理してみた。

上天津	木曾ヶ濱藤作	天保三年
中陣内	西之戸又吉	天保十四年
後 迫	木曾ヶ濱儀助	弘化二年
下陣内	立山亦右衛門	安政三年
中 島	浪ヶ嶋甚八	安政六年
下陣内	立山甚左衛門	万延元年
矢護川	荒瀧桂右衛門	元治元年
後 迫	宮之戸為蔵	慶応三年

墓碑に見る
大津宮相撲力士たち



下町出身の横綱「不知火光右衛門」

明治・大正に入り杉水兜山四郎・後追吉見山三郎・中陣内不知火清五郎・多々良荒嶋又平などがいる。四十八人を系列別にする、木曾ヶ濱藤作を頭に木曾ヶ濱系・立山甚右衛門を頭に立山系・荒嶋又平系に大別することができ、木曾ヶ濱藤作は上京して職業力士になったが、残念ながら二十六歳の若さで病死している。

文化財保護委員 吉村 昌之

同和問題は
みんなの問題

町民アンケート

調査の結果⑦

問10 あなたの子どもや孫の結婚相手が同和地区の人だったら、あなたはこうしますか。

この質問に対し、「子ども
の意志を尊重する」が全体の
六〇%、「反対するが子ども
の意志が強ければ仕方ない」
が二五%、「絶対に結婚を認
めない」が六%、「親戚の反
対があれば結婚を認めない」
が三%となりました。

この結果からは、最終的に
結婚を「認める」と約八割の
人が回答しています。これは
今まで行ってきた同和教育の
成果だと思われませんが、「反
対はするが…」の回答に「絶
対に…」と「親戚の反対があ
れば…」との回答を加えると、
約四割の人たちが、同和地区
の人たちとの結婚について、
今まで何らかのためらいや不
安といったものを抱いている
という結論が導けます。

この「ためらい」や「不安」
といったものは同和問題に対
する誤った認識や知識が原因
となっていることがほとんど
です。そして、そういった意
識を取り除いていくことは、
部落問題の解決のためには大
変重要なことなのです。

つまり、研修会などで学習
することで、この「ためらい」
や「不安」を取り除き、また、
そのことが「人権を尊重した
明るい町づくり」につながる
のではないのでしょうか。

役場同和对策課

町建設業組合が

研修会を開催

町建設業組合の同和問題研
修会が九月二十九日、町生涯
学習センターに約四十人が参
加して開催されました。

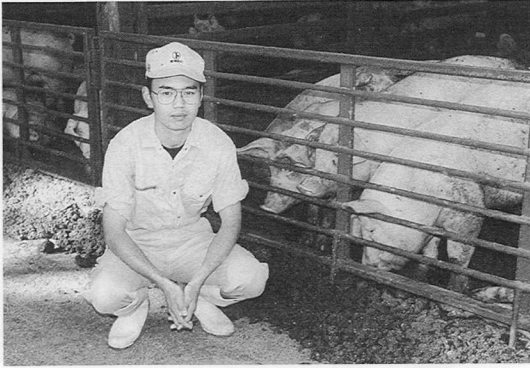
これは、同組合が会員相互
の同和問題に対する理解を深
めようとしたもので、研修
会では町同和教育指導員の藤
本吉子さんが結婚差別の問題
などについて語りました。

①

父の熱意を引き継ぎ
養豚経営を決意

飯田尚光さん (19)

矢護川



養豚経営に意欲をみせる飯田さん

今月号から、今年新しく農業に就いた町内の若者を紹介していきます。

私は、昨年、菊池農業高校の畜産科学科を卒業した後、千葉の養豚試験場で研修を受けました。そして、現在、両親と三人で養豚経営を営んでいます。

現在、我家では、母豚六十五頭を飼育する一貫経営を行っています。また、九月に、新しい

肥育豚舎を建設したばかりです。

私が養豚経営を決意した最大の理由は、養豚こそ一生の仕事と考える父の熱意の影響だと思っています。そして、その養豚経営を引き継ぐ責任の重さに身がひきまわる思いです。

養豚経営は大変難しいことが多く、豚の成育を阻害するいろいろな病気対策をはじめ、一日の増体量の確保や、飼養効率の向上などがとても難しいです。また、肉質の上物率の向上などが課題としてあげられます。

私は最近、父とこれからの養豚経営についてよく話し合います。その中で、これから先の二十一世紀に向けて、輸入豚に對抗するための飼育技術や経営能力を学び、また、豚肉の販売方法を考えています。

これからは、父とよく話し合っ、経営のコストを下げて生きのびるために、一生懸命頑張りたいと思います。

芸文報

俳句

大津句会

夕花野かつては母と佇ちし日も
女郎花牧の扉はすぐ開く
蝉軽くかゝるく転がる大地かな
露結び合ふ刻音のあるごとく
敬老と言はれてもまだ馴染まぬ日
くぐりゆく鳥居の奥の秋の声
秋水の加賀友禅を流しをり
月に向き赤児あやしてをりにけり
萩解けてたちまち爪のとりこなる
秋海棠咲かせて供養ごころかな
長き夜をまどふ水音溪の宿
じりじりと残暑の力ゆるめざる
吹く風の遊び心や猫じやらし
夕暮れは木犀の香の濃く匂ふ
盛りとは乱る、ことよ萩の花
台風の近づく雲でありにけり
雨が去り鶴鶴が来て露天風呂

佐藤 艸魚
井芹真一郎
武藤 規子
江藤 みち
坂本 セキ
家人 元子
井上 千鶴
西本 明子
大田黒美代子
渡辺佳代子
吉野みつ代
中島 彦丸
高見 久子
大田黒照子
市原 初女
西島キヨミ
坂口芳太郎

つのはな句会

稲荷詣のこんと日暮れを盗むかな
行く道は踊り太鼓にゆだねおり
うすうすと日暮に掛ける秋の繭
母看り十六番目の秋が来る
不条理がゴロリところがっている秋
跡目なき田の畦燃ゆる彼岸花
火の玉となつて音して秋没日
草の穂の陽に透きかゝる失語症
常夜灯へ飛ぶ蛾と淡き十七夜
遠足の子ら一列に曼珠沙華

星永 文夫
田代 玲子
鶴田 淑子
岩本 慶子
上杉 波
大田黒加朱子
後藤 大典
木庭 杏子
吉田 正代
矢嶋 道子

短歌

大津短歌会

安らげるさまとも見えてひっそりと草生に
転ぶ蟬の亡骸
米納 三雄

ほろ苦き思い出ばかりの人生ぞ借金すこし
貯えずこし 若下 勇一
君とともに植えし彼岸花咲き出でて野辺送りする道につづけり 若下 寿子
門の辺の若木の合歡は雨除けの傘をさされ
て花あふれ咲く 山中 栄子
つつがなくひと日送りて夫と観る今宵の月
の高々と澄む 吉永 恵子
沈黙の兵団のごとひっそりと杉山つづく逆
光の中 山内 春子

万年青短歌会

咲き残る庭に真白き百合の花雨に打たれて
こうべたれおり 矢野フジ子
しらしらと雲は流れて逝く夏の小高き丘辺
かなかなの啼く 上野 静枝
くれないに燃えて群れ咲くさるすべり人招
くごと風に揺らめく 三池ツヨ子
甲子園熱戦終えたる球児等は涙乍らに砂持
ち帰る 式森 初子
「静や静」の歌を寝覚めに偲ぶ夜中窓辺に
月は隈無く照らす 大塚 ツヤ
吾が住める前田の稲のたわわにて刈り取り
の日を黄金して待つ 加藤 英子

中島短歌会

鏡の中に光る白髪を抜きあつことさらに
老いを嘆くにもあらず 村元 芳子
古里に湧きし温泉に浸りつつ阿蘇山仰ぎを
り「岩戸の里に」 合志 とえり
里芋を掘りて親より子をはづす此の幸せの
いつ迄つづく 合志 文代
子も孫も成長しつつ去りゆくに老猫の眼は
尚も頼れる 古庄 恵美
台風も事なく過ぎて虫の音も今宵は一入清
しく聞こゆ 矢野 和子
夫抱き来し古里の秋の花にうつし絵の母埋
もりてをり 合志 妙

くらしの 伝言板

おしらせ

中九州スタンプラリーに参加して、賞品をゲット!

九州中央地域連携推進協議会では、中九州地域七十七市町村全域で「九州中央77スタンプラリー」を行っています。中九州地域を四つのゾーンに分け、期間中にゾーンの違う三つ以上のスタンプを集めて応募すると、抽選で一泊二日のペア宿泊券や特産品などの素敵なプレゼントが当たります。

スタンプのある場所や各ゾーンの観光案内などが掲載されたリーフレットは、役場三階企画財政課、大津温泉岩戸の里、熊本文化の森に用意しています。

- 期間 十二月七日(日)まで
- 応募締切日 十二月十日(水)
- 問い合わせ 役場企画財政課

☎(293) 3118

仕事と家庭の両立でお悩みのあなたへ

仕事と家庭の両立支援の情報を電話で無料提供します。お気軽にどうぞ。

- 育児情報 認可、無認可保育所・ベビーシッター・学童保育など
- 介護情報 高齢者向け福祉サービス・老人ホーム・相談窓口など
- 家事代行情報 家政婦紹介所・家事代行サービスなど
- 相談日時 毎週月曜～金曜(祝日を除く) 午前九時半～午後四時半
- 問い合わせ (財)21世紀職業財団熊本事務所

☎(324) 2020

年賀はがき発売中

来年の年賀はがきを町内の各郵便局と切手類販売所で販売しています。

種類は無地(一枚五十円)と絵入り(一枚五十五円・三種類)があります。

- 問い合わせ 大津郵便局

☎(293) 2042



町巡回移動図書がやってきました

町中央公民館では、「ふれあい号」で町内全域への図書室サービスを行っています。

皆さんの家の近くまで、「娯楽・趣味・小説・子ども本」など約千五百冊の本を乗せてまいります。どうぞご利用ください。

なお、下表の巡回コース以外で、巡回希望がありましたらご相談ください。

- 問い合わせ 町中央公民館

☎(293) 2146

身体障害者等

福祉年金の支給

身体障害者手帳または療育手帳をお持ちの方(障害年金受給者は除く)に年額三千元の福祉年金が支給されます。

申請の受付は、各地区で次の日程で行います。

- 持ってくるもの

印かん・申請書・身体障害者手帳または療育手帳・受給者名義の通帳(口座番号)

なお、申請は代理の人でも結構です。

- 問い合わせ 役場福祉課福祉係

☎(293) 3113

福祉年金支給日程表

日	時間	場所
11月18日(火)	9:30~10:00	瀬田地区生活改善センター
	10:10~10:40	錦野地区農業研修センター
	10:50~11:20	森公民館
	13:30~14:30	陣内地区公民館分館
11月19日(水)	9:30~10:00	上中公民館
	10:10~10:40	宮本地区農業研修センター
	11:00~11:30	杉水地区公民館分館
11月20日(木)	9:00~16:00	役場福祉課

■上記の日程で都合のよい場所で申請してください。

巡回移動図書日程表

月日	配本所	時間
11月26日(水)	大津地区公民館分館(室)	9:15~10:00
	あけぼの団地東第一集会所(4棟前)	10:15~11:15
	あけぼの団地西第二集会所(14棟前)	11:20~11:50
11月27日(木)	つつじ台地域学習センター	13:30~14:00
	千福食堂前	14:15~14:30
	陣内幼稚園横広場	8:50~9:50
11月28日(金)	阿原目 浄専寺	10:00~10:30
	J A 錦野支所前広場	10:50~11:20
	瀬田駅東側より道路南へ200m	13:15~13:40
11月29日(土)	吹田団地(東)産交バス駐車場そば	13:50~14:15
	吹田団地(西)コミュニティセンター前	14:20~14:50
	平川・宮本農業研修センター	9:40~10:00
	真城小学校	10:20~11:00
	上中公民館	11:10~11:40
11月30日(日)	矢護川小学校	13:15~13:55
	平川小学校	14:30~15:15

公共工事入札結果公表

500万円以上のもの

入札日	工事名	落札金額(円)	落札業者
10月14日	平成9年度国土利用計画策定業務委託	6,510,000	日本技術開発(株)
	大津北中学校屋外環境(木の研修交流施設)整備工事	13,650,000	(有)平川緑地産業
	大津町運動公園駐車場便所新築工事	19,215,000	肥後木村組(株)
	大津町老人ホーム施設改修工事	9,397,500	(有)鎌田建設
	大津町運動公園競技場入場口整備(その2)工事	33,810,000	(有)檜木造園

今月の相談

相談	期日	時間	場所	相談員
心配ごと相談	4(火)	13:00~16:00	老人福祉センター	上村 義輝
	10(月)	13:30~15:30	隣保館	永田 彦助
	11(火)	13:00~16:00	老人福祉センター	矢野 健次
	18(火)	//	//	永田 彦助
	25(火)	//	//	古庄 恵美
行政相談	26(火)	10:00~12:00	役場住民相談室	日野 恵美子
法律相談	28(金)	//	//	弁護士 弁坂本 秀徳
身体障害者相談	10(月)	13:00~16:00	老人福祉センター	緒方 功
軍人等遺族相談	10(月)	//	//	藤本 力男
児童相談	17(月)	//	//	梅田 そよ
税務相談	10(月)	10:00~15:00	役場住民相談室 所属	税務協会 所属 税理士
年金相談	19(火)	//	//	社会保険 相談専門員
園芸相談	16(日)	10:00~11:30	大津地区 公民館分館	斉藤 節夫

■注意 法律相談は、住民課で事前の予約が必要です。昼休み時間は相談受付を行っていません。

ぼしゅう

大津温泉岩戸の里で
ギャラリー展を
開きませんか

「大津温泉岩戸の里」では、施設内で展示会などを行う個人や団体を募集しています。

学校やクラブ、サークルで展示会をやってみませんか。絵画、書道、写真、標語など壁にかけられるものなら何でも展示できます。

なお、営利を目的としない場合は使用料が無料となります。

○申し込み・問い合わせ
大津温泉岩戸の里

☎(294) 2626

「やさしいまちづくり」を
推薦してください

県では、皆さんのまわりの「やさしいまちづくり」についての取り組みを表彰するため、現在その推薦を受け付けています。

○推薦内容 高齢者や障害者によさしい建築物や、さまざまなボランティア活動を行っている団体、グループ、企業、事業所など。自薦や他薦は問いません。

○応募方法 所定の応募用紙に必要事項を記入し、写真や資料を添えて申し込んでください。

○応募期間 十二月十九日(金)
○表彰 審査委員会が審査し、来年二月ごろに表彰式を行います。

○問い合わせ

県庁健康福祉政策課

☎(383) 1111



秋の全国火災予防運動
(11月9~15日)

「県民提案」募集

県では、「熊本の水を守る取り組みや工夫」について、生活排水問題、水源のかん養、河川保全など幅広い提案を募集しています。

○応募資格 県内在住の人(議会議員、市町村長は除く)

○応募方法 四百字詰め原稿用紙五枚以内(ワープロ可)にまとめ、住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記してください。

○応募期限 十二月六日(土)まで。当日消印有効。

○表彰 優秀作品に県賞十万円、優秀賞五万円、佳作二万円など。応募者全員に粗品進呈。

○応募先・問い合わせ
〒862-170 県庁広報課

県民提案係 ☎(383) 1111

緑のオーナー募集

熊本営林署では、国有林の分収育林契約者(緑のオーナー)を募

集しています。

個人、法人、団体は問いません。

○募集箇所・口数・金額
鉾ノ甲国有林(菊池市) 三口

吉原国有林(菊鹿町) 十五口

一口五十万円、何口でも応募可

○契約内容 契約者は、三十二年

から三十七年生のスギ・ヒノキの

共有者になり、契約口数に応じた

持分を取得。契約期間後にその立

木を販売し、収益を契約者と国で

分配します。また、契約後の森林

の手入れや管理は、国が責任をもつ

て行います。

○募集期限

鉾ノ甲国有林 十二月十一日

吉原国有林 来年二月二十五日

○問い合わせ 熊本営林署

☎0968(25) 2101

トピックス



老人クラブが町の施設めぐり

皆さん 杉水老人クラブの皆さんが施設めぐりをするバスで、町内のお年寄りに、変わりゆく町の姿を直接見聞していただくことと、町が今年の九月から実施している「老人クラブ町の施設めぐり研修」が好評です。研修はバスを利用して単位老人クラブごとに行っており、企業の立地が進む熊本中核工業団地や国体の会場となる町運動公園などの施設を見学。「終点」の岩戸の里では温泉を楽しみます。また、若手の町職員がガイド役を務めており、今年中に町内約三十の老人クラブが研修を行うことになっています。

来年度

保育所入所のご案内

- 平成十年四月一日から保育所への入所を希望される方は、次のとおり申し込みをしてください。
- 入所基準 保育所への入所基準は、保護者が次のような事情で児童の保育ができないと認められる場合で、かつ、同居の親族その他の人が当該児童を保育することができないと認められる場合に限り、病気、負傷や心身に障害がある。
 - ② 児童の親が家庭内で日常の家事以外の仕事をしている。
 - ③ 児童の親が死亡、行方不明などの理由で児童の親がいない。
 - ④ 児童の親が出産の前後であったり、病気、負傷や心身に障害がある。
 - ⑤ 児童の家庭に長期にわたる病人や、心身に障害のある人がいるため、児童の保育ができない。
 - ⑥ 火災、風水害、地震などの災害を受け、復旧のため保育ができない。

来年度

町立幼稚園の園児を募集します

来年度四月から町立幼稚園へ通園を希望する園児を次のとおり募集します。

○募集する園名

大津幼稚園 電話 (293) 2131
陣内幼稚園 電話 (293) 2512

○各園の募集人数と園児の資格別表のとおり。
募集人員を超えた場合は抽選と

ない。

⑦その他特別の事情により、町長が認めた場合。

○保育料 保育料は、前年分の所得税、前年度分の町民税および固定資産税によって算定します。

○提出書類

- ①保育所入所申込書
- ②家庭調査書
- ③就労証明書ほか

これらの書類は、役場福祉課と各保育園に用意しています。

○受付期間 十一月二十日(木)～二十八日(金) 期限厳守

○提出先・問い合わせ

役場福祉課福祉係 電話 (293) 3113

○経費の概要 (平成九年度現在)

入園料 三、五〇〇円
保育料 五、五〇〇円(一カ月)
給食費 三、二〇〇円(一カ月)

○問い合わせ 役場学校教育課

電話 (293) 3349



募集人数と園児の資格

区分・資格	大津幼稚園	陣内幼稚園
年長(5歳児) H4.4.2生～H5.4.1生	2人	9人
年中(4歳児) H5.4.2生～H6.4.1生	27人	7人
年少(3歳児) H6.4.2生～H7.4.1生	40人	20人

町内の保育園

保育園名	定員	所在地	電話番号
大津保育園	90	室1084の3	293-2139
緑ヶ丘保育園	90	引水790の1	293-8300
一字保育園	90	平川220	293-2560
白川保育園	90	森64	293-2194
杉水保育園	90	杉水3251	293-8156

もよおし

県精神薄弱者施設
作品展即売会

知的障害者施設では、治療教育、生活訓練、職業指導などを行っています。保護者や施設関係者の願いは、利用者が一日も早く地域社会の中で楽しく生活し、社会的自立を果たすことです。

今回、県内七十二施設の日ごろの指導内容の一部と、利用者の作品を紹介し、県民の一層の理解を願って作品展即売会が開催されます。

- 日時 十一月十五日(土)・十六日(日) 午前十時～午後四時
- 場所 県農業公園カントリーパーク(合志町)
- 問い合わせ 県精神薄弱者愛護協会事務局(大江学園内) 電話 (364) 0070

献血にご協力を

とき: 11月26日(水) 9:00～16:30
ところ: 役場正面玄関前
内容: 一般献血 (200ml・400ml)

大津中吹奏楽部 定期演奏会

大津中学校吹奏楽部では、創部三十九周年を記念して第九回定期演奏会を開催します。

○日時 十一月二十三日(日)

午後一時半開演

○場所 町文化ホール

○入場料 無料

○問い合わせ

大津中学校吹奏楽部

☎(293) 4374

陸上自衛隊第8音楽隊 定期演奏会

○日時 十二月十三日(土)

午後六時半開演

○場所 県立劇場(コンサートホール)

○内容 交響的序曲(ジ・バーンズ)、大序曲1812年、ジャズピアノなどの軽音楽ほか

○入場料 無料(要整理券。整理券は熊本市内の各プレイガイドなどで配布しています)

○問い合わせ 陸上自衛隊第8師

団広報班 ☎(343) 3141

健康運動習慣 普及推進大会

「栄養・運動・休養」を三本柱に、健康運動習慣普及推進大会が開催されます。

各種健康運動の実技など、盛りだくさんのイベントがあります。皆さんのご来場をお待ちしています。

○日時 十一月九日(日)

午前九時開会

○場所 菊池市勤労者体育センター

○問い合わせ 県菊池保健所

☎0968(25) 4155

天然記念物 北海道犬展覧会

天然記念物である北海道犬の展覧会が開催されます。

当日は、九州各地から約四十頭の北海道犬が集まり展示されます。

○日時 十一月十六日(日)

午前九時開会

○場所 杉水公園

○問い合わせ (社)天然記念物北海道犬保存会 九州支部(平野さん)

☎(380) 9734

国民健康保険 Q&A

Q 保険の異動があったときは

A 職場の健康保険に加入している人や生活保護を受けている人以外の方の人は、国保に加入することが法律で義務づけられています。保険の異動(住所や世帯主の変更があったとき・職場の健康保険などに加入したとき、またはやめたとき・生活保護を受けはじめたとき、または受け

なくなつたときなど)があつた場合、切り替えは自動的に行われませんので、役場保健衛生課の窓口まで、必ず届出をしてください。

●問い合わせ 役場保健衛生課国保医療係

☎(293) 3114

国民年金 Q&A

Q 納めた国民年金の保険料は 所得から控除されますか

A 平成九年一月から十二月までの間に納めた国民年金保険料は、年末調整や確定申告の際「社会保険料控除」として申告すれば、所得から全額控除され、税金が安くなります。

を納めたときや納め忘れの保険料を納めたときも対象となります。

●問い合わせ 役場住民課年金係

☎(293) 3112



1日合同相談所を開設します



社会生活を送る上での悩みごとや心配ごと、役場への要望や苦情など、この機会に何でもお気軽にご相談ください。相談は無料です。秘密は固く守ります。

■日時 11月18日(火) 午前10時から午後4時まで
 ■場所 役場4階大会議室
 ■相談内容と相談員
 法律相談 坂本 秀徳弁護士
 人権相談 豊岡 博子 山隈 哲也
 紫安 報義 木村 長夫
 西本 天次
 行政相談 日野 恵美子
 心配ごと相談 阪田 一磨
 民生委員 上村 義輝
 ○問い合わせ 役場住民課住民係 ☎(293) 3112

からいもフェスティバル

inおおづ



11月9日(日)

午前10時～午後4時

HSR九州(本田技研工業内)・からいも畑

食

おいしい食べ物 新鮮な野菜がいっぱい

- 肥後牛の丸焼き
- からいも
- 野菜
- 乳製品
- その他、からいもを使った食べ物や大津の特産品がいっぱい。
- からいもぞうすい
- からいもつきあげ
- 弁当、軽食、ジュース
- 焼きいも

遊

楽しい遊びがいっぱい

- からいも掘り大会
- 積み木ゲーム
- ウッディ迷路
- フリーマーケット
- ミニ四駆大会(先着100人)
- PKゲーム
- オートバイレース観戦
- トラクター馬車
- バザー
- 手づくり製品展示販売
- 漫画コンテスト
- team河野関連品展示
- ちびっこミニバイク教室

館

からいも博士が待ってるよ

- からいも料理コンテスト
- からいもものしり展
- 江戸時代のからいも料理紹介
- 大津町紹介
- 絵手紙コーナー
- からいも製品展示販売
- からいも料理紹介
- からいもだご汁
- 栄養相談コーナー
- 珍からいもコーナー

ステージイベント

- ワンワンドリームショー
- ピエロパントマイムショー
- 『からいも君の歌』振り付け大会
- 自衛隊第8音楽隊ほか

○問い合わせ

からいもフェスティバル実行委員会
役場商工観光課 (293) 3115

ハ～イ 保健婦です!

③ 安心して医療を受けるためには

以前、病院で「最近○○さんは、いつちよん見らんばつてん病気だろつか？」という会話を聞いたことがあります。ん？よく考えて見ると何だかおかしい話です。病気を治しに病院にきているのではなく、元氣だから病院にいくことができるー。といったところでしょうか。

現在、日本では安心して誰もがが必要な時に必要な医療が受けられるよう、各種の医療保険制度が整えられています。が、近年社会情勢の変化、高齢化社会、少子化などの問題が浮上。今年九月から、増え続け悪化する医療費財政の改善策として、医療保険の自己負担額の改正が行われました。詳しいお話はまたの機会にすることとして、今回は安心して医療を受けることができるように、皆さん一人ひとりが実際にできることを考えてみましょう。

正しい病院のかかり方

安心して医療を受けられる。

このために、たくさん保険料や税金が使われています。今回この保険料などは足りなくなつたため、被保険者や受診者に自己負担分の増額をすることになつた訳ですが、このような状態が続けば、今後安心して医療を受けられなくなる時が来るかもしれません。そうならないように

- ① 無駄な受診をしない
- ② 我慢せず、早めに受診する
- ③ 不必要に薬を欲しがらない
- ④ 途中で自分勝手に治療を中断しない



いつもの病院…ダメ？

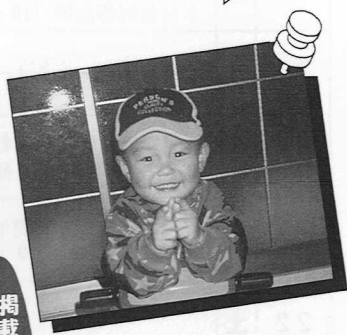
とりあえずこんなところから変えていくのはいいかもしれませんが。一見何でもないこのように思えますが、案外この通りに実行するのが難しい。そう思います。

「あそこが評判いいから」と聞けば受診、「今日はここが…」「明日はここが…」と、毎日痛む箇所が違つて受診。こんな病院のかかり方、覚えがありませんか？

だれだつて病気になれば不安で早く治したいという気になるもの。具合が悪ければ病院へ行くし、良いと聞けばそこへ行つてみたくもなるのですが……。もちろん、そういう受診も必要な場合がありますが、これら重複受診などには、同じ薬と知らず通常の何倍も飲む危険性があつたり、飲み合わせて悪い作用を起こしたりする場合もあることをきちんと知っておいてください。

これからますます風邪などはやる季節。まずは予防が第一ですが、病気になったら無理せず、我慢せず、早めに受診し病院の先生の指示を守り、十分回復するまで療養しましょうね。

あつまれ 大津っ子



あなみ まさし
穴見 政士ちゃん
(3歳・高尾野)

おかもと つばさ
岡本 飛翔ちゃん
(3歳・大津)

掲載希望の方は企画財政課まで
☎(293)3118

「将来は、キンキキッ
ズみたいにかっこよく
なるんだい！」
まみママ

「弱い者をたすける正
義の味方“翔マン”に
なるゾ！」
多美子ママ

ありがとうございました

寄付・訪問お礼 (敬称略)

次の方々から寄付や施設への訪問がありました。

■町社会福祉協議会

- *香典返し
西本文彰 (新) 佐藤 裕 (吹田)
豊岡 勝則 (杉水) 石井美知子 (吹田)
東 延生 (錦野) 小原 菊枝 (杉水)
清水 幸光 (大津) 春日袈裟昭 (吹田)
月尾ミツエ (引水) 東 正俊 (錦野)
古庄 信男 (平川)

*ニコニコ献金

中 一善 (室)

■老人ホームすぎなみ園

- 式森 幹雄 (陣内) 原 勇 (鹿央町)
中村 勇 (大津) 鍛冶村婦人会
大津地区婦人会 藤原 満 (矢護川)
村山ヨシ子 (矢護川) 山口 照子 (下町)
村西子供会 合志 真一 (中島)
益田すえと (町) 住本 力 (大津)
豊住 又男 (室) 茂藤 正美 (菊池市)
緒方 功 (杉水)

■若草児童学園

大津町商工会婦人部 福田医院

■特別養護老人ホームつつじ山荘

- 木村 進 (外牧) 矢野 正 (灰塚)
藤本秀乗晴社中 (上鶴)
上村ケサヨ (大林) J A 大津中央女性部
大田黒英生 (吹田) 大津地区婦人会
坂本今朝雄 (森) J A 大津中央支所さつき会

おめでとうございます

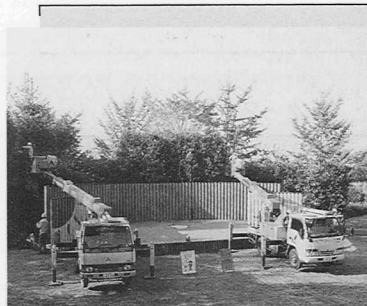
出生児氏名	届出人	住所
齊藤 孝	一	陣内
古庄 朋	宏	平川
江藤 龍	一	室
藤崎 雅	也	陣内
字室 博	明	大津
保々 光	眞	陣内
田端 俊	規	津室
小林 勇	斗	大津
鹿子木 貴	健	大津
新開 彩	佳	津室
村田 楓	華	水津
松田 奈	々	大津
江藤 仁	隆	二室
渡邊 由	水	司室
園村 愛	史	岩坂
荒井 悠	太	陣内
岡崎 綾	浩	二引水
渡邊 眞	佑	一夫室
高橋 空	和	陣内
高橋 良	空	陣内
坂口 真	浩	明室
荒木 愛	子	矢護川
小田 景	七	大津
桐原 陸	海	大津
桐原 唯	貴	大津
家入 唯	貴	大津
相馬 天	使	大津

死亡者氏名	満年齢	住所
佐藤 七	72	吹田
春日 安	73	吹田
豊岡 正	69	杉水
東 義	79	錦野
植田 才	93	大津
清水 光	96	大津
郷 惠	84	大津
今村 松	69	杉水
加来 松	65	室
月尾 直	87	引水
川口 喜	80	下町
枇杷木 子	85	室
吉永 ト	80	陣内
甲斐 千	85	大津
大塚 磨	93	大津
東 キ	77	錦野
古庄 香	87	平川
村上カ	93	中島

おくりあげます

死亡者氏名	満年齢	住所
佐藤 七	72	吹田
春日 安	73	吹田
豊岡 正	69	杉水
東 義	79	錦野
植田 才	93	大津
清水 光	96	大津
郷 惠	84	大津
今村 松	69	杉水
加来 松	65	室
月尾 直	87	引水
川口 喜	80	下町
枇杷木 子	85	室
吉永 ト	80	陣内
甲斐 千	85	大津
大塚 磨	93	大津
東 キ	77	錦野
古庄 香	87	平川
村上カ	93	中島

九電工が昭和園で 美化作業



せん定では高所作業車が活躍

樹木のせん
定や水銀灯
の清掃を行
い、園内は
見違えるよ
うにきれい
になりました。

十月十七日、九電工(株)大津営業所(山下公成所長)の皆さん約五十人が、室の昭和園で美化作業を行いました。作業では、普段工事で使う高所作業車を使って



毎年秋には、町内外で催しなどが多く開かれますので、この時期に発行する広報に掲載される「話題」の記事も当然多くなります。今月号にもたくさんのお話を掲載されていますが、本当はもっと町には多くの話題があると思います。紙面の都合などでそのすべてを掲載できないのが残念です。しかし、この話題の多さに、改めてこの町の活気を感じています。

おわびと訂正

先月号の「おめでとうござい
す(出生)」で次の誤りがありま
した。おわびして訂正します。
誤 高瀬翔太 正 高瀬翔大



1	土	'97からいもフェスティバル in おおづ と き：11月9日(日) 午前10時 ところ：HSR九州(本田技研工業(株)熊本製作所内)・からいも畑
2	日	
3	月	
4	火	
5	水	ツベルクリン反応検査(14:00~14:30・町体)
6	木	
7	金	BCG接種(14:00~14:30・町体) 税金展(アーク・ジャスコ大津店)18日まで
8	土	県・町指定重要文化財「江藤屋敷」一般公開 (10:00~15:30)10日まで つつじ山荘ふれあいバザー(10:30~13:30・同山荘)
9	日	からいもフェスティバル in おおづ (10:00~16:00・HSR九州) 消防団非常呼集訓練(6:30・町内各分団)
10	月	
11	火	お誕生月育児相談(9:30~10:30・福祉)
12	水	1歳6カ月児健診(13:30~14:00・福祉)
13	木	
14	金	税金無料相談 (10:00~16:00・アーク・ジャスコ大津店)
15	土	ふれあい青空市場(8:00・オックス広場)
16	日	北海道犬展覧会(9:00・杉水公園) 歩こう会例会(竜門ダム・七城温泉・孔子公園)
17	月	

18	火	4カ月児健診(9:30~10:30・福祉) 体育施設等調整会議(19:00テニスコート関係)中公 1日合同相談所(10:00~16:00・役場)
19	水	マタニティーセミナー(9:30~12:00・福祉)
20	木	元気が出る保健栄養教室(9:30~12:00・福祉) 高齢者大学例会1日研修(日田市)
21	金	大津中学校創立50周年記念行事(9:00・同中体育館) 年末調整説明会(9:30~15:30・中公)
22	土	
23	日	勤労感謝の日 大津中吹奏楽部第9回定期演奏会(13:30・ホール)
24	月	振替休日 国体開催700日前記念第4回タイクスサッカー大会
25	火	7カ月児健診(9:30~10:30・福祉)
26	水	献血(9:00~16:30・役場玄関前) 第4回町巡回移動図書(28日まで) くわしくは18ページをご覧ください。
27	木	
28	金	3歳児健診(13:30~14:00・福祉)
29	土	今月は、町県民税第3期 国民健康保険税第6期の 納付の月です。
30	日	
12/1	月	ふれあい青空市場(8:00・オックス広場)
2	火	4カ月児健診(9:30~10:30・福祉)
3	水	1歳6カ月児健診(13:30~14:00・福祉)
4	木	
5	金	

・中公……町中央公民館 ・ホール……町文化ホール ・町体……町民体育館 ・町G……町民グラウンド
 ・オックス……町民交流施設 ・福祉……町老人福祉センター

人口の動き

人口	27,336人(+28)
男	13,188人(+16)
女	14,148人(+12)
出生	34人
死亡	19人
転入	99人
転出	86人
世帯	8,832戸(+8)

9月末現在()は前月比

日	医療機関	所在地	電話番号
2日	勝久病院	大津町	293-5000
	本多医院	津陽町	232-2021
	金田歯科医院	大津町	293-1387
9日	山縣医院	津陽町	293-4430
	ちが産婦人科医院	津陽町	232-9131
	城直秀歯科医院	合志町	248-6464
16日	岩倉整形外科医院	津陽町	293-8888
	笹原整形外科病院	津陽町	232-1165
	荒木歯科医院	菊池市	0968-25-1478
23日	双愛内科医院	大津町	293-0266
	武蔵しもむら医院	津陽町	339-7561
	緒方歯科医院	津陽町	232-4315
30日	馬場医院	津陽町	293-2358
	ふじおか内科	津陽町	232-7550
	鹿井歯科医院	大津町	293-2551

■当番医を変更することがあります。当日の当番医(歯科医は除く)は
 テレホンサービスで確認してください。☎0968(25)3300